

若林さん(磐崎小) 最優秀

全国選抜小学生プログラミング大会
 会県大会は16日、南相馬市原町区の
 福島ロボットテストフィールドで開
 かれ、最優秀賞にいわき市の若林玲
 子さん(磐崎3年)、福島民友新聞
 社賞に猪苗代町の小椋正晴さん(吾
 妻6年)が選ばれた。若林さんは、
 来年3月3日に東京都で開催される全
 国大会に出場する。



民友賞に小椋さん(吾妻小)

プログラミング県大会

最優秀賞に輝いた
 若林さん



福島民友新聞社などどつ
 ぐる実行委員会の主催、全
 国新聞社事業協議会の共

催、県情報産業協会の協賛。
 「みんなのみらい」をテーマに自分や大切な人、地域などの明るい未来に役立つようなコンピュータープログラムや、プログラム化したいアイデアを募集した。大会には3個人、3チームが参加。児童は環境問題や医療などを題材にした作品を発表し、工夫した点や制作への思いを語った。
 最優秀賞の若林さんは、海洋ごみが海洋生物に深刻な影響を与えていることを知り、ウミガメがごみを避けながら砂浜などを進んで

福島民友新聞社賞に輝いた
 小椋さん

いくゲームを制作した。若林さんは「きれいな海がずっと続いてほしい」と語り、受賞については「うれしい。全国大会では優勝したい」と笑顔を見せた。
 福島民友新聞社賞の小椋さんは、食事の栄養バランスを楽しく学べるカードゲームを考案した。小椋さんは「これからはスケールの大きいゲーム作りにも挑戦

したい」と語った。
 吉岡廉太郎会津大教授や添田喜史福島民友新聞社営業局次長らが審査員を務めた。ほかの受賞者次の通り。
 福島民報社賞||OWAD A BROTHERS(大和田哲秀・郷ヶ丘6年、大和田倫太郎・同5年)▽県情報産業協会賞||かみプロ(秋山慶太・上三宮6年、高橋聖人・同、佐藤風紗・同)▽アイデア賞||安藤慧(勿来一6年)▽審査員特別賞||timus M k2(森岡蓮・安積一6年、神山大葵・同)